

校長室だより第 25 号（令和 7 年 10 月 1 日）

6 年生が 1 泊 2 日（9 月 25 日 26 日）で日光へ修学旅行に行ってきました。「修学旅行」という言葉は大変身近なのですが、千葉市の 6 年生が行くのは平成以降では今年が初めてです。（以前はあったと聞いていますが、私が千葉市の教師になってからは、県内の施設を使っての「自然教室」や「農山村留学」でした。宿泊で県外に出る体験は今年が初めてです。）

私が初めてなのですから、6 年生の担任も初めてです。日程は決まっているので大体の流れはわかります。行って、帰ってくるだけなら十分かもしれません。「ただの旅行」ならばそれもいいでしょう。でも、「修学旅行」なので、「楽しかった」だけで終わってほしくないのです。もちろん「楽しい」ことも大切です。つまり、「楽しく」かつ教育的に意味のある行事にしたいのです。

9 月 25 日朝 6 時過ぎには、校庭に数人の 6 年生の姿がありました。6 時半の登校予定でしたが、心がわくわくしてしまい、早く来てしまったのでしょうか。

登校予定時刻を過ぎると、続々と子どもたちは集まっています。青空が広がり、絶好の修学旅行日和です。みんなニコニコしています。楽しそうに友達とおしゃべりしていますが、出発式の始まりを告げる声が響くとシーンとなりました。「さすが小倉小学校の 6 年生！」と心でつぶやきました。

出発式を終え、荷物をもってバスへ移動します。荷物は皆小ぶりでした。昨年までの農山村留学では、磯遊びのための水着やウォーターシューズが必要なので、どうしても荷物が多くなってしまいました。そりやそうだと思うのですが、実際に目にするまでは考えが及びませんでした。

出発は朝 7 時過ぎ。道路は通勤のための車で混んでいます。京葉道路、外環が混んでいるのは予想通りでしたが、東北道に入っても混んでいました。渋滞に巻き込まれると、体調を

崩す子が現れるのですが、私の乗ったバスは楽しくレクを行っていたので、杞憂でした。パーキングエリアで他のバスの様子を聞いても、体調を崩した子はいないとのこと。

「さすが小倉小学校の6年生！」とまた心でつぶやきました。

つづく